

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部	福祉部	課	高齢福祉課
---	-----	---	-------

施設名称	〔10〕 東京都台東区立老人福祉センター					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	入谷老人福祉館・橋場老人福祉館・三筋老人福祉館					
(3)経営状況	(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,801,147,502円,歳出2,609,179,684円,収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区東上野2-25-14					
(2)設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送れるよう活動の場を提供する。					
(3)利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日 9時から21時まで					
(5)規模	延べ床面積 2,130.8㎡のうち1,311.48㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち1・2階の一部、3～5階部分 浴室、機能訓練室、茶華道室、教養室、談話室、囲碁将棋室など					
(6)人員体制	7名 内訳...所長(1)、事務員(常勤1・非常勤1)、相談員(1)、栄養士(1)、施設管理職員(常勤1・非常勤1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練 等					
(2)自主事業	各種サロン、地域・世代間交流事業、各種教室 等					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	41,950,000	46,394,800	46,346,000	46,282,000	49,596,000
	料金収入等	4,880,000	4,751,000	5,647,000	5,082,000	6,010,000
	管理経費	46,830,000	51,145,800	51,993,000	51,364,000	55,606,000
決算	委託料	40,432,932	46,384,300	46,281,320	46,282,000	49,596,000
	料金収入等	4,650,430	4,763,435	5,917,140	6,486,580	6,300,232
	管理経費	45,083,362	43,177,368	49,618,354	51,428,989	54,959,471
	収支	0	7,970,367	2,580,106	1,339,591	936,761
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
開館日数	日	294	294	295	296	
健康づくり(介護予防)事業実施回数	回	302	251	250	245	
ことぶき教室実施回数	回	149	180	180	180	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度	
利用者数	人	30,000	25,093	25,683	28,642	
健康づくり(介護予防)事業ことぶき教室参加者数	人	6,200	5,313	6,016	6,027	

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

複数の苦情受付窓口の案内、新規サロンの追加など利用者のニーズに応じたサービスを提供できるよう努めている。また、経費の縮減についても継続して取り組んでいく。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[3]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)経費縮減のための取組み	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	新規サロンの追加が利用者数増につながった。また、近隣企業と防災協定を結び、合同訓練を実施したり、併設のうえの高齢者在宅サービスセンターと連携して緊急時の対応をするなど、良好な事業の運営がなされている。
(2)施設の維持管理	A	施設設備の定期的な保守点検の実施後、速やかに区へ報告を行っている。また、清掃業務及び警備業務は委託を行っているが、業務内容を業務日誌や実地検査で確認しており、適切な施設管理を行っている。
(3)利用者の満足度	A	満足度調査では全体的に利用者の満足度が高い。特にサロンや教室といった自主事業について好評を博している。苦情についても、ご意見箱を設置する等適切に対応している。
(4)歳入歳出	A	予算は適正に執行されている。サービスの水準を保ちつつ、引き続き経費節減に取り組むことが望まれる。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	新たな企画や教室を実施し、利用者増につながった。また、関係団体や地域と連携して、教室の開催や地域行事への参加に取り組んでいる。
-----------	---

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

自主事業が充実し利用者満足度が高いので、今後も同等以上の水準を維持することが望まれる。今後は経費削減を進めつつ、利用者数がさらに伸びるよう取り組んでいく。